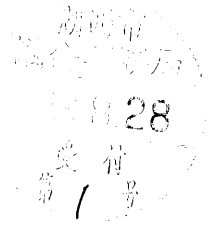


一 般 質 問 通 告 書

令和5年 8月 28日

午前 9時 17分 受付
後



下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

2023年 8月 28日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 竹内 祐子

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	老人クラブ活動について
2	新居弁天公園の再整備について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	老人クラブ活動について
質 問 の 要 旨	
<p data-bbox="225 517 746 555">(質問しようとする背景や経緯)</p> <p data-bbox="209 624 1353 768">老人クラブ活動についての一般質問は繰り返されていますが、進展がみられません。老人クラブの課題は加入率の低下、役員のなり手不足、会員の高齢化でクラブが存続できなくなっていることです。</p> <p data-bbox="209 786 1353 871">市では連合会との話し合いや老人クラブの実態調査はされたのでしょうか。</p> <p data-bbox="209 891 1353 1193">市が目指す「共生社会の構築」に老人クラブの活動は、地域貢献していることがたくさんあります。地域が衰退しないためにも老人クラブの存続は大きなものがあります。老人クラブを高齢者福祉だけで考えるのではなく、地域福祉計画においても重層的支援体制整備事業の「支え合いの地域づくり」を担っていただいていると考えます。住民同士の出会いや居場所の支援ができるのは老人クラブという組織です。</p> <p data-bbox="209 1214 1353 1408">昨年の6月定例会の一般質問「老人クラブの活性化について」では、「老人クラブは必要な団体と考えているので支援していきたい」と答弁されています。課題解決のための具体的な支援内容を確認させていただきたいと思います。</p> <p data-bbox="225 1478 459 1516">(質問の目的)</p> <p data-bbox="209 1536 1353 1677">市が目指している地域の支え合い活動をさらに一步推進するために、老人クラブは必要な団体です。早急に市が一丸となって老人クラブの活動支援をしていただき、支え合いの地域づくりを推進するため。</p> <p data-bbox="225 1747 427 1785">(質問事項)</p> <ol data-bbox="209 1805 1353 2045" style="list-style-type: none"> 1. 老人クラブを活性化する方策を伺う。 2. 課題把握をするための実態調査はどうしたか伺う。 3. いきいきクラブ連合会での会合では、各地区の課題が出されている 	

が市はどう対応されているか伺う。

4. 新型コロナウイルス感染症での3年間の活動自粛が会員減に大きく影響していると考えますが、いきいきクラブ連合会の加入促進委員会の活動を市はどう支援していくのか伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	新居弁天公園の再整備について
質 問 の 要 旨	
<p data-bbox="225 573 746 611">(質問しようとする背景や経緯)</p> <p data-bbox="209 680 1374 927">合併当初から、新居弁天公園内の施設は老朽化や集客面など多くの課題を抱えていたが、7月4日にトラストリング株式会社と、新居弁天公園整備と管理運営事業の基本協定を締結したことが、広報こさい8.15号に掲載されていた。来年春には開業が予定され、市民にとっては嬉しいニュースが入ってきた。</p> <p data-bbox="209 949 1358 1084">コロナ下では、アウトドアスポーツやオートキャンプ、ソロキャンプのようなアウトドアの遊びが流行し、道具をそろえて遊びを楽しむ人たちも増えている。</p> <p data-bbox="209 1106 1358 1196">老若男女、障害を持っている方にも安心して過ごせる公園を期待しているという声を受けたので確認させていただきます。</p> <p data-bbox="225 1323 459 1361">(質問の目的)</p> <p data-bbox="280 1429 922 1467">みんなが使える施設になってほしいから</p> <p data-bbox="225 1536 427 1574">(質問事項)</p> <ol data-bbox="209 1592 1358 1995" style="list-style-type: none"> 1. 誰もが使用できるキャンプ場についてはどう考えているか。(水洗い場、トイレ等) 2. 各エリアをつなぐ道はどのように整備されるか。 3. センターハウスの機能と役割を伺う。 4. 市の役割を伺う。 	

一 般 質 問 通 告 書

令和5年 8月 28日

前

午 1時 45分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年 8月 28日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 山口 裕 教
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 一括の質問答弁
番号	主 題
1	準用河川の豪雨災害予防対策について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	準用河川の豪雨災害予防対策について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>近年、全国的に線状降水帯やゲリラ豪雨などによる災害が頻発化しており、昨年の台風15号や今年6月の台風2号においても、日本各地で河川の氾濫や土砂崩れなどの報道が後を絶ちません。湖西市においても例外ではなく、昨年度はスズキ自動車の西側道路法面の崩壊、今年6月の台風2号では土砂崩れや道路の冠水など市内各所で116件もの災害が発生し、その中には河川の被害も含まれていると伺っています。湖西市内には入出太田川や笠子川など県が管理する2級河川が6河川、古見川や一の宮川など市が管理する準用河川が17河川、その他、普通河川や都市下水路など多くの河川が存在します。これらの河川は古くから順次整備を進め治水対策の拡充を図っていただいているところですが、その上流部においては未だ未改修の河川も存在しています。昨今の異常気象による被害を未然に防ぎ、市民が安心して暮らす事ができるまちづくりを進めるにおいては、未改修の河川においても今後改良、整備の必要性を強く感じることから質問致します。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>湖西市の基本構想の1つである、「安心して暮らす事ができるまち」として、災害に強いまちづくりが進み、地域住民が安心して暮らす事が出来るまちにしたいということが質問の目的です。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 道路から河川への水の流れが行き詰まり、道路の低い部分での冠水防止対策をどのように進めていくか伺う。 2. 豪雨による民家への浸水を防止するための対策はどのように進めていくか伺う。 3. 豪雨による河川氾濫を防止するための対策はどのように進めているか伺う。 	

4、境田川等未改修の準用河川の改良整備を今後どのように進めていくか伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和5年8月29日

前
午9時44分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年 8 月 29 日



湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 滝本 幸夫

(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	農業の持続的発展と魅力的な儲かる農業を目指して
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	農業の持続的発展と魅力的な儲かる農業を目指して
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p>	
<p>人口減少や少子高齢化の本格化により国・県・湖西市でも 2040 年に高齢化のピーク期を迎えるとされています。農業に携わる人口も例外ではありません。全国的に農業の担い手や働き手が不足しており、湖西市においても人手不足が大きな問題となっています。農地はあるのに耕作がなされていないのが現状であり、このままの状態では耕作放棄地や未耕作地が増えるばかりです。さらに、昨今の農業資材、燃料、飼料等の価格の高騰により、農業を取り巻く環境は一層厳しい状況になっています。</p>	
<p>(質問の目的)</p>	
<p>当市における農業の現状と課題を把握し、課題解決に向けた市の取り組みを明確にすることで、農業が持続的に発展することを目的とする。</p>	
<p>(質問事項)</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 農地の地主や耕作者の代替りにより、貸借関係が曖昧になってしまうという話を聞いているが、市としての現状の認識とその対応についてお伺いします。 2. 毎年実施している農地利用状況調査（農地パトロール）において、市として把握されている課題などをお伺いします。 3. 農業従事者も高齢化が進んでおり、高齢を理由に続けることが困難な農家もある。そのような農家の意向などを市として把握しているかお伺いします。 4. 農業資材、燃料、飼料等の価格の高騰や人手不足など、農業を取り巻く環境が厳しくなっている中で、スマート農業の実践などによる作物の付加価値を高めるような取り組みに対する市の考えを伺います。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和5年8月29日

前
午 9時46分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年8月29日

湖西市議会議長 馬場衛 様

湖西市議会議員 加藤治司



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	新居跨線橋の存続に関する要望書について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	新居跨線橋の存続に関する要望書について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>令和3年12月の定例会本会議において、昭和43年に建設された浜名湖競艇場へのアクセス道路であり、JR東海道線と東海道新幹線、国道301号線をまたぐ新居跨線橋に関する浜名湖競艇企業団の撤去方針について、道路管理者である湖西市の対応を質問した。</p> <p>その後、令和4年6月には新居地区有志による「新居跨線橋存続の署名活動」を実施した結果、4,833名の署名が集まり、令和4年8月に新居跨線橋署名者代表の中之郷地区連合自治会長から、湖西市長と浜名湖競艇企業団企業長に対して「新居跨線橋の存続に関する要望書」を、4,833名の署名と共に提出した。</p> <p>又、湖西市自治会連合会からも「新居跨線橋の存続を求める要望」を湖西市に提出した。</p> <p>その後令和4年8月末に、湖西市による新居跨線橋今後の方針に関する説明会が開催され、これまでの経過や今後の予定に関する質疑応答があった。</p> <p>以上がこれ迄の経緯だが、湖西市や企業団に要望書を提出した時の応答内容や、市による今後の方針に関する説明会での質疑応答の回答に関して、不十分な内容もあった。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>新居跨線橋は競艇場への来場者の利用は減っても、令和4年7月の7時から19時までの交通量調査では、上り下り合わせて4,429台が利用している重要な道路である。新居跨線橋の存続に関する要望書に署名した多くの住民や利用者に対して、撤去・存続に関する財政上の負担額・撤去後に発生する周辺道路網への影響と代替道路の整備・大規模災害時における新居跨線橋の役割等について今迄の要望や説明会での不明な内容に関し、約1年が経過した現時点での道路管理者である市の方針を確認する。</p>	

(質問事項)

1. 存続に関する要望書の提出時や市の今後の方針に関する説明会で、道路管理者である湖西市が存続させると維持管理の負担が増えて、他の施設の維持管理に影響が出るので存続出来ないとの事だが、概算費用を伺う。

2. 令和3年12月の一般質問で、撤去時期は企業団算出の概算撤去工事費用と令和4年の橋梁点検結果に基づき決まるとの答弁であった。但し、令和4年8月に企業団に存続の要望書を提出した時に企業団から撤去存続の最終判断は、道路管理者である市の判断を待つとの事であった。道路管理者である市の撤去存続に関する最終判断の内容を伺う。

(以下、3・4・5問は新居跨線橋存続に関する要望項目)

3. 新居跨線橋撤去による周辺の道路網に対する影響について、令和4年9月に行われた橋梁点検時の交通量調査と合わせて市の考えを伺う。

4. 大規模災害(津波・地震など)時における新居跨線橋の果たす役割(浜名港への物資搬入と運搬等)について、市の考えを伺う。

5. 新居跨線橋の長寿命化工事の実施による存続又は代替機能を有する道路の整備(大倉戸茶屋松線との関連)について、市の考えを伺う。

以上

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和5年8月29日

前
午11時33分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年8月30日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 三と元

質問方式 (○を付ける)	一問一答 一括の質問答弁
番号	主 題
1	選挙公報と選挙の公費負担について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	選挙公報と選挙の公費負担について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>今春の湖西市議会議員選挙には二つの注目すべき点があった。それは、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最後に届け出た立候補者の選挙活動がなかったこと。 2. 新人が、異なったやり方で上位当選したこと。 <p>この二つは選挙の公費負担と選挙公報制度への疑問が秘められていると感じた。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>選挙の公費負担の趣旨は、資金力のない人でも立候補できるように助ける制度である。それなら公費負担する活動は選挙に必須な活動であることが求められるはずである。しかし、その公費負担する活動をほとんど行わないで堂々と上位当選した人が存在したことは公費負担制度の見直しをする時代に突入したと思うので当局の考えを聞きたい。</p> <p>もう一つは、選挙公報は無投票でもやるべきであり、少しでも早く全ての市民に届けるべきだと思うので、当局の考え方を聞きたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当市の選挙公報発行に関する条例第 6 条を見ると「投票を必要としなくなった時は選挙公報の発行は中止する」と書かれている。公職選挙法 171 条にも同様の記述がある。 <p>立候補者の考え方を議員になる前に市民に伝えるという趣旨からは、立候補者数が定員以内であっても選挙公報、または選挙公報に類するものは出すべきだと思うが、当局の考えはいかに。</p> 2. 選挙公報で、二つ目の改善して欲しい点はスピードアップである。届出の翌日から期日前投票が始まり、期日前投票をする人が年々増えている。 	

印刷物を届けるやり方も、申し出れば郵送というサービスをしている市も存在している。

この点の改善に対する当局の考えはいかに。

3. 選挙の公費負担で一番目は選挙カーである。

公費負担する目的は資金力の無い人への支援であり、公職選挙法の考え方は、「市町村が公費負担することができる」という定めなので、何を負担対象経費とするべきか、いくらを上限とするかは湖西市の判断である。

今春の選挙で、選挙カーを使わずに上位当選した2人が存在した事は選挙カーの公費負担は必須のモノか、の問題提起と考える。

選挙カーの公費負担を、再検討する時代になったと私は思うが、当局の考え方はいかに。

4. 選挙の公費負担の次はビラ（チラシ）とハガキの公費負担である。

候補者の考えを市民に伝える自的で選挙公報が存在している。

これをさらに充実させることで、ビラとハガキへの公費負担を減額することは、一案だが、その考えはあるか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること